

令和7年度

事業報告書

【清流園】

≪基本方針≫

利用者が自主的、自発的に活動できるように、スタッフ一人ひとりがサービスや専門知識について、積極的に学べる機会を設けます。また地域との繋がりを強化しつつ、利用者が安心して暮らすための取り組みを検討及び実施し、法人内にその成果を波及します。

≪成 果≫

- ①人財確保に向けて事業所見学に8名を受け入れるとともに、事業所独自のポスターの掲示や、イベントでチラシの配布をしました。
- ②清流園の過去（繋がり、歴史など）を振り返り、新たに3か所へPRを行い地域との繋がりを広げました。
- ③サービスを軸に結成したチームで話し合いを行い、各チームによる発表を10月に行いました。
- ④大規模修繕を計画し、清流園は9月～12月、武庫之荘分場は令和8年1月～3月実施しました。

≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	兵庫県こころのケアセンター	6月12日	サイコロジカル・ファーストエイド	兵庫県こころのケアセンター	1名
2	(福) 福利厚生センター	7月22日	メンタルヘルス講習会	We b	1名
3	兵庫県社会福祉協議会	7月28日 7月29日	相談面接技術研修（基礎編）Aコース	福祉人材研修センター	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	8月23日	職業倫理と権利擁護	福祉人材研修センター	1名
5	(株) ブティックス	10月15日	第10回CareTEX大阪'25	インテックス大阪	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	11月21日	セルフケア研修	福祉人材研修センター	1名
7	兵庫県社会福祉協議会	1月22日 1月23日	相談面接技術研修（基礎編）Bコース	福祉人材研修センター	1名
8	(株) アイ・ビーアイ ファーストペンギン	3月17日	出張ドライビングスクール 安全運転講習	清流園	1名

【セントラル武庫】

《基本方針》

利用者が笑顔で安心して生活いただけるように、スタッフ一人ひとりがサービスや専門知識について、積極的に学べる機会を設けます。また地域との繋がりを理解しつつ、利用者が安心して暮らすための取り組みを検討および実施し、法人内にその成果を波及します。

《成 果》

- ①スタッフの“わからない” “できていない” をリスト化し、スタッフ同士で教え合うことでリストの3割を“わかった” “できた” にしました。
- ②地域連携推進会議の運用に向け、メンバー選出および会議を1回開催しました。
- ③寄付について過去の実績確認にとどまり、発信方法を検討するにとどまりました。

【塚口福成園】

《基本方針》

塚口福成園だけで完結することのない地域共生社会の実現を目指します。そのためにセントラル塚口との一体運営を展開し、利用者・スタッフ・地域・関係機関との繋がりを深化させながら多機能型（生活介護事業・就労継続支援B型事業）のサービス提供を実施します。

《成 果》

- ①教える側と教えられる側になる仕組みを作り、全スタッフが3つのグループに分かれて楽しみながら相互成長できる事業所内研修を実施しました。
- ②一体運営に向けて、スタッフが日中と地域の両方を経験できるようにグループホームの各勤務形態を体験する等の準備を進めました。
- ③利用者の稼働率100%を維持できるように、作業室の整理整頓やプログラムの選択を導入する等の検討をしました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	6月24日	福祉従事者新任職員研修（障害福祉）	福祉人材研修センター	1名
2	兵庫県社会福祉協議会	7月3日	OJTリーダー養成研修（基礎編）	福祉人材研修センター	1名
3	兵庫県社会福祉協議会	7月24日 10月2日	OJTリーダー養成研修（実践編）	福祉人材研修センター	1名
4	兵庫県知的障害者施設協会	3月17日	強度行動障害スーパーバイザー養成事業における実践	兵庫県福祉センター	2名

【杭瀬福成園】

＜基本方針＞

全スタッフが楽しみながら相互に成長し、障害特性に応じた専門的な支援を向上します。また、面的整備体制（セントラル杭瀬との一体運営）を整え、それぞれが地域に必要とされる社会資源となるよう「繋がり」を大切にします。

＜成 果＞

- ①全スタッフが必要な知識や技能を学びあう場を設定し、相互成長できる環境を整えました。相互成長で培った知識や技術をもとに、強度行動障害者支援をはじめとした各専門性の向上に繋がりました。
- ②あまトラフェスや各種イベントに参画し、杭瀬福成園では30周年イベントを開催しました。地域に必要な社会資源となるように地域に出向き、関係性を向上させました。
- ③利用者に「また、行きたい」と思ってもらえるよう継続的な取り組みの検討を重ね、稼働率の向上に努めました。

＜外部研修受講一覧＞

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月24日	福祉従事者新任職員研修	兵庫県福祉人材研修センター	1名
2	(福)来島会	6月26日	スーパーバイズを活用した支援 の実践報告会	Web	3名
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月3日	OJTリーダー養成研修(基礎編)	兵庫県福祉人材研修センター	1名
4	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月24日、10月2日	強度行動障害SV養成事業ブ ラッシュアップ研修	兵庫県福祉人材研修センター	1名
5	兵庫県知的障害者施設協会 強度 行動障害SV養成事業実行委員会	10月3日	OJTリーダー養成研修(実践編)	(福)明桜会 木の根学園	1名

【セントラル杭瀬】

《基本方針》

利用者が笑顔で安心して生活していただけるように、スタッフ一人ひとりがサービスや専門知識について、積極的に学べる機会を設けます。面的整備体制（杭瀬福成園との一体運営）を整え、地域と繋がり利用者が安心して暮らすための取り組みを検討し、法人内にその成果を波及します。

《成 果》

- ①業務において、充足感ややりがいを得ることができるようスタッフ全体での検討会を実施し、全スタッフが楽しみながら相互成長する機会を設けました。
- ②暮らし続けたいGHとなるように利用者、親族等からのニーズを基に、利用者の自由度、個別性、楽しさを向上する企画を3回実施しました。
- ③毎日帰ることが楽しみとなるGHを目指してサービス、ホスピタリティ、環境についてグループで検討会実施やグループワークを実施しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	(福)来島会	6月26日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告会	Web	1名

【あいあい】

《基本方針》

全スタッフがおもてなしの心を再確認しながら相互に「専門性」を学び合い、学び得た知識を支援の「楽しさ」に変えていき、利用者が「また行きたい」と思えるサービスを提供します。また地域共生の実現に向け面的整備を展開する中でスタッフ間の繋がりを深め、新たな地域との相互理解が深められるように事業所の機能などを活用します。

《成 果》

- ①利用者が安心して楽しく過ごせるよう、一人ひとりの障害特性や能力についてアセスメントを実施し、その結果を基にした支援の検討が行える仕組みを構築しました。また利用者の強みに着目した支援を検討し合う機会を定期的に設定したことで、学び合いながら検討できる人材育成に繋げることができました。
- ②地域主催のイベントに向けた集会や年4回のイベントに参加することで、地域住民との交流に繋げることができた。将来的に継続可能なイベントの検討までは至らなかったため、利用者の社会参加の機会として年間計画に盛り込みこめるように取り組みました。
- ③全スタッフで、ニーズに合わせたサービスについて継続的に話し合い、利用者の楽しみや「やってみたい」という気持ちに沿った活動を月1回のペースで提供することで、利用者の活動参加率の向上に繋げることができました。アセスメントを基に一人ひとりに合わせた活動を検討し一年を通して実施できるようにしました。
- ④潮江分場の利用者一人ひとりの意向を個別に調査し、新たな行き先候補を検討しました。また月2回以上の見学や体験利用を実施することで、利用者が新たな活動場所に少しでも早く慣れてもらえるように計画的に実施を行ったことで、15名の利用者が新たな行き先が決定しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	株式会社Lean on me	6月10日	障害福祉の現場で使えるコーチング	Web	2名
2	兵庫県知的障害者施設協会 人材確保委員会	6月20日	人材確保情報交換会	兵庫県福祉センター	1名

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
3	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	6月24日	福祉従事者新任職員研修（障害者福祉）	兵庫県福祉人材研修センター	1名
4	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	7月28日、29日	相談面接技術研修（基礎編）	兵庫県福祉人材研修センター	1名
5	（福）北摂杉の子会	9月12日	8法人ジョイントセミナー2025	高槻市立生涯学習センター	1名
6	兵庫県知的障害者施設協会	11月4日	監督職研修	三田市商工会館	1名
7	PWS支援者ネットワーク事務局	11月22日	PWS支援者ネットワーク第54回定例会	Web	2名
8	兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	1月21日	リスクマネジメント研修	兵庫県福祉人材研修センター	1名

【チャレンジ・コヤリバ】

《基本方針》

利用者が希望する就労や生活に向けた活動やプログラムの内容を強化し、企業などとのつながりを広げ、事業のさらなる充実を目指します。また、グループホーム事業との面的整備（日中事業所とグループホームの一体運営）を進めます。他に、積極的に地域イベント等に参加し、地域で利用者が活動、活躍できる場を広げられるように取り組みます。

《成 果》

①一般就労への支援の基本を体系的に学べる研修やOJT体制を構築するため、複数の研修を受講して分析してまとめました。ただ、年度内で試行的に実施することはできませんでした。

②スタッフが業務を経験し、グループホームとの一体運営が行えるような体制でシミュレーションをしました。最終の検討会ができなかった分は、来年度の実態に合わせて改善します。

③就労選択支援について、調査を行い内容把握はできました。継続した事業とするには、知見豊富な人財確保と運用ルールの明確化が必要だと分かりました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	日本セルフセンター	6月10日	全国社会就労センター総合研究大会	w e b	1名
2	兵庫県社会福祉協議会	6月24日	福祉従事者新任職員研修	兵庫県福祉人材研修センター	1名
3	全国社会就労センター協議会	7月17日 7月18日	全国社会就労センター総合研究大会	大阪国際交流センター	2名
4	兵庫県知的障害者施設協会・兵庫県社会就労センター協議会	8月21日	就労支援フォーラム	ウイズあかし子午線ホール	1名
5	日本セルフセンター	8月29日	工賃向上研修会	ビジョンセンターグランデ東京浜松町	1名
6	近畿社会就労センター協議会	10月29日	近畿社会就労センター総合研究大会	大阪国際交流センター	1名
7	日本財団	12月20日	就労支援フォーラム NIPPON2025	東京ビックサイト	1名
8	全国社会福祉法人経営者協議会	12月22日	リスクマネージャー養成講座	w e b	1名
9	大阪府精神障がい者自立支援事業所連絡会	1月31日	自立訓練（生活訓練）実践技術研修会	エル・おおさか	1名
10	日本セルフセンター	1月20日	ビルメンテナンス・清掃部会研修会	尼崎商工会議所	2名

≪ 外部研修受講一覧 ≫

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
11	全国社会就労センター協議会	2月26日 2月27日	全国社会就労センター長研修会	KFCホール	1名
12	CEF2026実行委員会	3月14日	CEF2026分科会	w e b	1名

【サポートセンターまっば】

《基本方針》

重度高齢化支援の知識と技術を醸成させます。専門知識の高いスタッフ（有資格者）の育成や雇用を行い、利用者へのサービス向上とともに加算取得で収入を上げ事業運営を安定させます。事業所の課題や利用者の社会参加などについて、利用者の意向を捉えながらトップダウンではなくスタッフ全員で検討していく機会を大切にします。

《成 果》

①重度高齢化について調査としての2か所の他法人見学や外部研修から、支援スキルや技術を学びスタッフへ伝達することで、利用者がより安心して過ごしやすい環境をつくりました。

②利用者の社会参加について意見交換し、日々のプログラムやイベントに地域との繋がり等の要素を入れました。

③利用者に選ばれ安定した事業運営が継続できるように、支援内容やイベント、新たな自主製品などの広報を行いました。

④活動環境を整えるために、11月～12月にかけて全館の空調設備を入れ替えました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	(福) 兵庫県社会福祉協議会	6月24日	福祉従事者新任職員研修	福祉人材研修センター	1名
2	(福) 来島会 南海学園	6月26日	スーパーバイズを活用した実践報告会	Web	1名
3	(福) いたみ杉の子	7月11日	知的障害者の高齢化と支援の課題	いたみ杉の子	2名
4	近畿地区知的障害者施設協会 相談支援部会	7月24日	近畿地区知的障害者施設協会 相談支援部会研修会「自己決定」「支援付き意思決定」「意思決定支援」を考える	大阪府社会福祉会館	1名
5	(福) 兵庫県社会福祉協議会	8月28日	聴き上手、伝え上手になるためのコミュニケーション研修（実践編）	福祉人材研修センター	1名
6	(福) 福成会 尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり	9月4日	食品表示研修	中央北生涯学習プラザ	1名
7	(福) いたみ杉の子	10月31日	第4回公開研修実践報告会	いたみ杉の子 多目的室	1名

【ぶちるぽ】

≪基本方針≫

住み慣れた地域での安心できる暮らしが継続できるように、親亡き後の共同生活経験や緊急時の利用、介護者のレスパイトを目的とした宿泊を提供します。利用者の全体像を理解するため、日中事業所や家庭との繋がりを大切にして情報共有を図ります。

≪成 果≫

- ①効率的なデータ作成としてデータベースやA Iを活用することで、事務作業時間が月2時間削減でき、エラーも減少しました。
- ②一体運営するにあたり必要な利用者情報や業務内容などを周知する以外にも、スタッフの業務進捗具合や超過勤務時間を把握した上で一定配慮した夜勤体制などを検討する機会を年3回もち、S Cまつばとの一体運営を醸成しました。
- ③支援や環境面などサービス向上に繋げるための利用者アンケートを実施し、全体的な課題や個別課題に優先順位を付けて取り組み、環境面などを改善しました。

【セントラル】

《基本方針》

事業の発展的解消を目指し、各地域や事業所との繋がりを強化し面的整備（日中事業所とグループホームの一体運営）体制を構築します。またグループホームでの生活の中で、利用者の将来像の実現をサポートするとともに、これから求められる暮らし方の支援ができるスタッフの育成を行います。

《成 果》

①面的整備（日中事業所とグループホームの一体運営）に向け、他の事業所と定期的な打ち合わせを行い、財務状況も踏まえながら、適正な人員配置を整えました。想定外の退職もあり、一部配置がととなわない事業所はありました。

②面的整備（一体運営）に向けた工程や背景を利用者やスタッフにも伝えながら、他事業所と連携し面的整備（一体運営）を推進し、事業を移管してセントラルの事業を3月末で廃止しました。

③月1回検討の予定を8割実施でき、利用者の望む暮らしの実現や、グループホームの暮らしの中でもQOLの向上の視点をあてた支援をしました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	あいおいニッセイ同和損保	7月25日	BCP机上訓練 地震編	Web	1名

【相談支援センターことは】

《基本方針》

常に相談者の意思を尊重し、自立した生活の実現に必要な課題やニーズに対し、解決できるよう伴走しながら支援を実行します。そのために関係機関と連携し、他の社会資源ともつながり、地域共生社会の実現のため創意工夫をします。また、スタッフ自身が楽しみながら成長を実感できるよう、学びやネットワーク構築の場等へ積極的に参画します。

《成 果》

- ①相談者の課題やニーズに対して、本人中心支援として寄り添い続けられるようスキルと知識の向上に努め、様々な分野や関係機関との繋がりを広げることで、外部機関（介護・地域福祉分野）から講師や介入依頼が2件以上ありました。
- ②連携する地域や関係機関が抱える課題を地域の課題と捉え、積極的に地域コミュニティへ介入することで、重層的支援推進会議や地域ケア会議に声がかかり、それらの会議に5件参加しました。
- ③業務で学びや経験したことを発表する機会を設けたことで、有意義な相互成長の場となり、定例化させることができました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	阪神地区手をつなぐ育成会 連絡協議会	10月14日	手をつなぐ育成会の保護者研修	宝塚市立文化施設ソリオホール	1名
2	兵庫県社会福祉協議会福祉 人材研修センター	1月21日	リスクマネジメントについて	兵庫県福祉人材研修センター	1名

【尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり】

《基本方針》

就労を希望する方に、就労準備、実習機会、職場環境の整理及び就労定着等ニーズに応じた支援を提供するとともに、支援するスタッフが楽しみながら自身の成長を感じられるような企画や環境整備を実行します。また「雇用と福祉」を繋ぐ就労支援の中核事業所として、企業や関係機関の繋がりやネットワークを強化し、市内の就労支援の底上げを促進します。

《成 果》

- ①事業所のスタッフが就労支援に必要な知識やスキルを取得し、共有・発信する場を設けた結果、各個人が自身の成長を感じるとともに、学びを得る機会にもなり、業務にやりがいを感じたり、向上心に繋げることができました。
- ②企業や関係機関と連携し、主に障害者雇用への課題やニーズ収集をおこない今年度の目標は達成しましたが、企業意識の変革までには至りませんでした。
- ③就労選択支援について、調査を行い内容把握はできました。継続した事業とするには、知見豊富な人財確保と運用ルールの明確化が必要だと分かりました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	日本職業リハビリテーション学会	8月22～23日	日本職業リハビリテーション学会兵庫大会（就労選択支援の概要、高次脳機能障害のある方の就労支援、医療機関の現状等について）	神戸市産業振興センター	1名
2	近畿社会就労センター協議会	10月29日	近畿社会就労センター総合研究大会（障害者雇用の可能性や就労選択支援の情報交換等について）	大阪国際交流センター	1名
3	兵庫県障害者職業センター	12月17日	基礎研修フォローアップ （就労支援におけるアセスメントや事例検討について）	神戸市産業振興センター	1名
4	（公財）日本財団	12月20～21日	就労支援フォーラムNIPPON2025 （自主製品やB型運営、仕事の切り出しについて情報提供等）	東京ビックサイト	2名
5	（特非）全国就業支援ネットワーク	2月10～11日	第12回 障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム（就労選択支援事業の行政説明と全国ナカボツの動き等）	東京たま未来メッセ	1名
6	Conference of Employment First 実行委員会	3月13～14日	CEF2026（就労選択支援のアセスメントや就ボツと移行との連携について等）	WEB	1名

【障害者就労支援事業】

《基本方針》

尼崎市社会福祉協議会より受託している清掃事業を公益事業として、市内に居住もしくは障害福祉サービス事業所を利用している方や生活困窮者等を対象に、就労を希望する方のステップとして、ビルメンテナンスの手法に基づいた職業訓練を通して、生活リズムの獲得、就労への喚起、適性に合った働き方探し、清掃業務の技術を深める機会など、生きづらさを抱える方の自立の一助となる役目を担います。

《成 果》

- ①提供機会の少なかったポリッシャー清掃の工程を進めようとしたましたが、担当者と訓練生の予定があわず実施できませんでした。訓練生の利用期間や目的も個々で違うことから、提供機会にも恵まれず、具体的な整備はできませんでした。
- ②専門的な支援や特色あるプログラムや事業内容を広報していく予定でしたが、今後の事業継続について不明確さもあり既存体制での運用に留まりました。
- ③就労選択支援事業に関する情報は得ましたが、公益事業の活用例などの実績が乏しく、事業として活用できる具体的な検証には至りませんでした。

【リレくらしサポートセンター】

≪基本方針≫

尼崎市内の障害のある方々が安心して生活できるように、グループホームの空床情報や生活介護事業の基礎情報の公表や、ネットワーク会議を開催することでグループホーム、短期入所、生活介護事業の活性化を図ります。関係機関との繋がりを深め、緊急時でも市内で生活できる環境作りとコーディネートを行います。

≪成 果≫

- ①利用者のライフステージに合わせた支援やニーズについて、サービス管理責任者委員会やことのはと情報交換会を年2回することで、課題の共有や今後の情報収集について意見交換しました。
- ②他法人事業所に延べ15件の訪問と電話での事業所基礎情報の調査（空き状況、物価高騰による家賃や利用料の上昇有無など）を行い、SNSでの情報発信や尼崎市のホームページ上での情報更新をしました。
- ③事業内容の理解が深まるように、ネットワーク会議での事業説明やInstagramでの活動報告などを延べ7回実施しましたが、会議参加率は▲4.8%となりました。

【総 務】

《基本方針》

地域に根差した面的整備をはじめ、仕事を楽しむ福成会のニューノーマルを確立するため、テクノロジーを活用した業務の効率化と負担軽減を図り、スタッフの安心を確保する環境整備を行いながら、多様性のある等身大の法人をHPやSNSを活用し人財確保を進めます。

《成 果》

- ①人財確保チームにより、就職フェアや就職説明会および地域イベントへの参加、ならびに養成校との連携などの採用活動を進め、必要な人財の充足（令和7年度中途採用者2名を含む9名の採用）に繋がりました。
- ②リニューアルしたHPや、InstagramなどのSNSを活用しつつ、新たな媒体としてTikTokを本格的に活用し、法人のPRを拡大しました。
- ③ミドルマネージャーや女性管理職を増やすために、役職任期制度の規程を改正し、新たに女性の管理職と男性の指導職が1名ずつ任命されました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修名	場所	参加
1	尼崎市保健所	6月26日	特定給食施設における栄養管理のポイント	尼崎市立小田南生涯学習プラザ（Web）	1名
2	ソウェルクラブ	10月15日	ハラスメント防止研修	Web	1名